

令和7年12月分の消費生活相談の概況

- ・当センターで受けた12月の相談件数は318件〈表1〉、前年度同月と比べ、15件の減少。
- ・販売購入形態別では、通信販売が112件と最多、店舗購入50件が続き、電話勧誘販売の増加率が対前年度同月比61.9%の増加となっている。〈表1〉
- ・店舗外販売（特殊販売）の契約当事者の年齢別では70歳以上が56件と最多となっている。〈表2〉
- ・販売購入形態の年齢別では、70歳以上がマルチ・マルチまがい取引、その他無店舗販売を除き、最も多い。
- ・商品・サービス（役務）別の相談件数は、〈表3〉のとおり。

<表1> 相談件数・販売購入形態別相談件数

区分	総相談 件数	販売購入形態別相談件数								
		店舗 購入	訪問 販売	通信 販売	マルチ・マル チまがい 取引	電話勧 誘販売	ネガティ ブ・オブ ション	訪問 購入	その他無 店舗販売	不明・ 無関係
令和7年12月	318	50	10	112	1	34	0	3	1	107
前年度同期	333	59	28	118	1	21	2	2	1	101
増減	▲ 15	▲ 9	▲ 18	▲ 6	0	13	▲ 2	1	0	6
令和7年度累計	3,316	494	274	1,094	21	276	17	33	12	1,095
令和6年度累計	3,224	522	293	1,034	21	214	12	40	9	1,079
増減	92	▲ 28	▲ 19	60	0	62	5	▲ 7	3	16

※音声ガイダンス、市町村からの経由相談除く

<表2> 販売購入形態別の契約当事者の年齢構成

販売購入形態		20歳未満	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上	その他 ・不明	計
店舗購入		2	1	3	5	5	7	15	12	50
前年度同期		1	12	4	5	5	11	11	10	59
増減		1	▲ 11	▲ 1	0	0	▲ 4	4	2	▲ 9
店 舗 外 販 売 （ 特 殊 販 売 ）	訪問販売	0	0	1	0	0	1	6	2	10
	通信販売	1	6	7	12	20	21	39	6	112
	マルチ・マルチまがい取引	0	0	0	1	0	0	0	0	1
	電話勧誘販売	1	4	2	1	9	4	10	3	34
	ネガティブ・オプション	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	訪問購入	0	0	0	0	1	1	1	0	3
	その他無店舗販売	1	0	0	0	0	0	0	0	1
	特殊販売全体	3	10	10	14	30	27	56	11	161
	前年度同期	8	8	8	19	29	32	47	22	173
	増減	▲ 5	2	2	▲ 5	1	▲ 5	9	▲ 11	▲ 12

<表3> 商品・サービス（役務）別相談件数上位10位

順位	前月順位	商品名等	件数	主な内容	
1	－	1	商品一般	27	フィッシングメール、架空請求など
2	↗	3	基礎化粧品	18	通信販売による定期購入など
3	↗	13	金融関連サービスその他	12	クレカの解約、SNS通じた暗号資産への投資など
3	↘	2	役務その他サービス	12	副業契約、サブスク契約、無料の求人広告など
5	↗	9	不動産貸借	11	賃貸アパートの退去費用など
5	－	5	修理サービス	11	自動車修理、トイレ修理、配管交換工事など
7	↗	8	固定電話サービス	10	大手電話会社を名乗った不審電話など
8	↘	6	工事・建築	9	住宅リフォーム（屋根、外壁、雨どい）、水道の点検など
9	↘	4	他の健康食品	8	通信販売による定期購入など
9	↘	6	インターネット接続回線	8	Wi-Fiルータの勧誘、光回線への切り換えなど
9	↗	11	相談その他	8	－